

SONY

ヘルプガイド

ICレコーダー
ICD-PX240



ICレコーダーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

準備する

[箱の中身を確認する](#)

[各部のなまえ](#)

表示窓

[録音停止時](#)

[録音時](#)

[再生時](#)

[ホールド時](#)

[現在時刻表示時](#)

電源を準備する

[電池を入れる](#)

[電源を入れる](#)

[電源を切る](#)

[USB ACアダプターにつないで使う](#)

USB ACアダプターからICレコーダーを取り外す

時刻を設定する

時計を合わせる

メニューから時刻を設定する

フォルダ／ファイルを選択する

誤動作を防止する

誤操作を防止する（ホールド）

ホールドを解除する

録音する

録音する

内蔵マイクで録音する

メモリー残量表示について

録音中の音をモニターする

いろいろな録音操作

録音の途中でファイルを分割する

録音の設定を変える

より良い音で録音するには

音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音

録音モードを選ぶ（MODE）

マイク感度を設定する（SENS）

録音を録音済みファイルに追加する（ADD）

録音を再生中のファイルに上書きする（OVER）

外部マイクをつないで録音する

電話機や携帯電話の音声を録音する

外部機器をつないで録音する

ICレコーダーの音声を他の機器で録音する

再生する

再生する

ファイルを再生する

いろいろな再生操作

再生の設定を変える

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする \(N-CUT\) – ノイズカット機能](#)
- [再生速度を調節する – DPC \(Digital Pitch Control\)](#)
- [1ファイルを繰り返し聞く \(リピート再生\)](#)
- [フォルダ内のすべてのファイルを連続して再生する \(CONT\) – 連続再生](#)
- [高音質で聞くには](#)
- [早送り/早戻しする \(キュー/レビュー\)](#)
- [聞きたいところをすばやく探す \(EASY-S\) – イージーサーチ機能](#)

[設定した時間にアラーム音とともにファイルを再生する \(ALARM\)](#)

編集する

消去する

- [ファイルを消去する](#)
 - [フォルダ内のファイルを一度に消去する \(ERASE ALL\)](#)
-
- [ファイルを別のフォルダに移動する \(MOVE\)](#)
-
- [ファイルを分割する](#)
-
- [ファイルを保護する \(LOCK\)](#)

各種設定メニュー

各種設定メニューを使う

- [メニューを使う](#)
- [各種設定メニュー一覧](#)

設定できる項目

- [ノイズを軽減して録音する \(LCF\)](#)
- [画面表示の設定を選ぶ \(DISPLAY\)](#)
- [時計表示の設定を選ぶ \(HOUR\)](#)
- [操作音の設定をする \(BEEP\)](#)
- [動作表示ランプの点灯、消灯を設定する \(LED\)](#)
- [メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す \(INIT\)](#)
- [ICレコーダーの本体情報を確認する \(SYSTEM\)](#)
- [メモリーを初期化する \(FORMAT\)](#)

パソコンにつないで使う

[ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

[ICレコーダーをパソコンから取り外す](#)

[フォルダとファイルの構成](#)

[ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する](#)

[パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーにコピーする](#)

[パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生する](#)

[USBメモリーとして利用する](#)

主な仕様

[必要なシステム構成](#)

[ICレコーダーの仕様](#)

[最大録音時間](#)

[電池の持続時間](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[著作権と商標について](#)

[ライセンスについて](#)

お問い合わせ

└ [電話・FAXで問い合わせる](#)

サポートホームページ

└ [サポートホームページで調べる](#)

困ったときは／よくある質問

[困ったときは](#)

ノイズ

└ [録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。](#)

└ [カサカサという音が録音されている。](#)

└ [ジリジリという音が録音されている。](#)

└ [別売りの外部マイクで録音すると、雑音が入る。](#)

別売りのヘッドホンで聞くと雑音が入る。

外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。

ノイズカット機能を設定しているのにノイズが入る。

電源

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

電源が切れない。

電源が自動的に切れる。

電池の持続時間が短い。

長期間電池を入れたままICレコーダーを放置すると電池残量がなくなる。

動作

正常に動作しない。

起動に時間がかかる。

操作ボタンを押しても動作しない。

動作表示ランプが点灯しない。

録音

録音できない。

録音が途中で止まる。

ADD機能やOVER機能で追加や上書きができない。

VOR機能が働かない。

録音レベルが低い。

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。

再生

再生音量が小さい。

内蔵スピーカーから音が出ない。

ステレオで再生されない。

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

MP3ファイルの音質がよくない。

編集

[ファイルを分割できない。](#)

[ファイルを移動できない。](#)

[ファイルを消去できない。](#)

時計

[時計表示が「--:--」になる。](#)

[録音日時表示が「--年--月--日」または「--:--」になる。](#)

[時計設定がリセットされている。](#)

表示

[液晶表示が消えない。表示が二重に見える。](#)

[メニュー表示の項目が足りない。](#)

[「ACCESS」のメッセージが消えない。](#)

ファイル

[「FULL」のメッセージが表示され、録音できない。](#)

[「FILE FULL」のメッセージが表示され、操作できない。](#)

パソコン

[変更したメニュー設定が反映されていない。](#)

[ファイル数が多くなると動作が遅くなる。](#)

[ファイルコピーに時間がかかる。](#)

[パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。](#)

[ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。](#)

[パソコンが起動しない。](#)

[ICレコーダーを正常に接続できない。](#)

メッセージ表示一覧

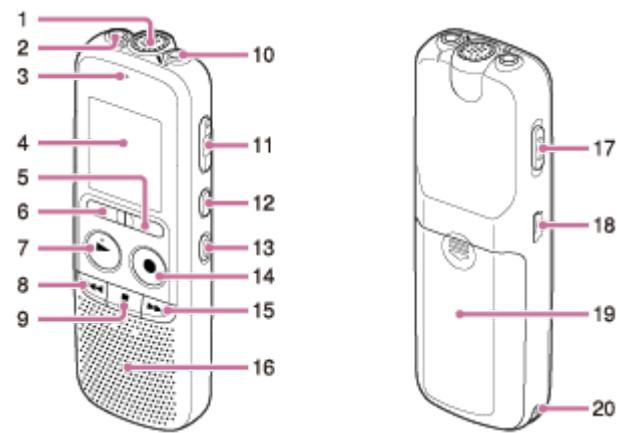
システム上の制約

箱の中身を確認する

- 本体 (1)
表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。
- 単4形アルカリ乾電池 (2)
- USBケーブル (1)
- 取扱説明書 (1)
- 保証書 (1)
- 製品のサポート登録のおすすめ (1)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

各部のなまえ

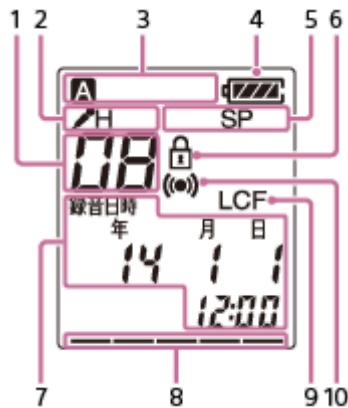


1. 内蔵マイク
2. Φ (ヘッドホン) ジャック
3. 動作表示ランプ
4. 表示窓
5. フォルダボタン
6. メニューボタン
7. ▶再生／決定ボタン (*)
8. ▶◀ (早戻し) ボタン
9. ■ (停止) ボタン
10. (マイク) ジャック (PLUG IN POWER/Plug-in power) (*)
11. 音量-／+ボタン (*)
12. 分割ボタン
13. 消去ボタン
14. ●録音／一時停止ボタン
15. ▶▶ (早送り) ボタン
16. 内蔵スピーカー
17. ホールド・電源スイッチ
18. USB端子
19. 電池蓋
20. ストラップ取り付け部 (ストラップは付属していません。)

* 凸点 (突起) がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

録音停止時

録音停止時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ファイル番号表示

選択しているファイル番号を表示します。

2. 内蔵マイク感度表示

メニューで設定したマイク感度を表示します。

H : High (高)
 L : Low (低)

3. フォルダー表示

選択しているフォルダーを表示します。

4. 電池マーク

電池残量を表示します。

5. 録音モード

選択している録音モードを表示します。

SHQ : モノラル超高音質モード

HQ : モノラル高音質モード

SP : モノラル標準モード

LP : モノラル長時間モード

6. 保護マーク

ファイルが保護設定されているときに表示されます。

7. 録音日時表示

選択しているファイルの録音日時が表示されます。

8. メモリー残量表示

メモリー残量を表示します。メモリー残量が少なくなると、表示が1つずつ消えていきます。

9. LCF(Low Cut Filter)表示

メニューから「LCF」を「ON」に設定すると表示されます。

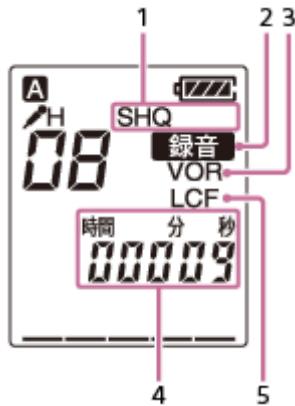
10. アラーム表示

アラームが設定されていると表示されます。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音時

録音時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 録音モード表示

選択中の録音ファイルの録音モードを表示します。

SHQ : モノラル超高音質モード
HQ : モノラル高音質モード
SP : モノラル標準モード
LP : モノラル長時間モード

2. **録音** (録音) 表示

録音中に表示されます。

3. VOR (Voice Operated Recording) 表示

メニューから「VOR」を「ON」に設定して、VOR機能使って録音すると表示されます。

4. カウンター表示

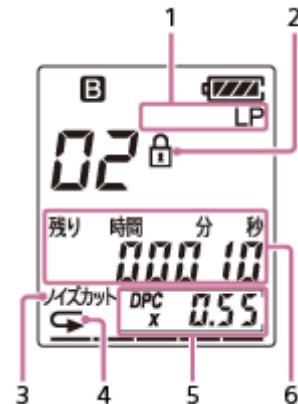
メニューから表示する内容を選択できます。
ELAPSE : 録音を開始してからの経過時間を表示します。
REMAIN : 録音中のファイルの録音可能時間を表示します。

5. LCF (Low Cut Filter) 表示

メニューから「LCF」を「ON」に設定すると表示されます。

再生時

再生時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 録音モード表示

再生中のファイルの録音モードを表示します。

SHQ : モノラル超高音質モード

HQ : モノラル高音質モード

SP : モノラル標準モード

LP : モノラル長時間モード

2. 保護マーク

ファイルが保護設定されているときに表示されます。

3. N-CUT(Noise Cut)表示

メニューから「N-CUT」を「ON」に設定すると表示されます。

4. (リピート再生)表示

リピート再生時に表示されます。

5. DPC(Digital Pitch Control)表示

メニューから「DPC」を「ON」に設定すると表示されます。

再生速度は変更することができます。

6. カウンター表示

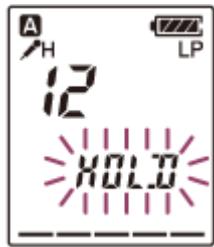
メニューから表示する内容を選択できます。

ELAPSE : 再生を開始してからの経過時間を表示します。

REMAIN : 再生中のファイルの再生残り時間を表示します。

ホールド時

本体をホールドしているときに表示される画面を説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. HOLD表示

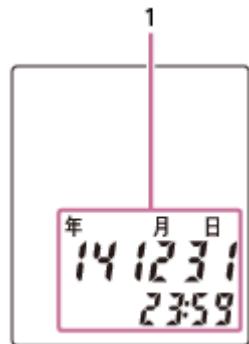
本体をホールド状態にしているときに操作すると点滅します。誤って本体のボタンが押されて動作することを防ぐために、ホールド時はすべてのボタン操作が無効になります。

関連項目

- [誤操作を防止する（ホールド）](#)
- [ホールドを解除する](#)

現在時刻表示時

現在時刻が表示されているときの画面を説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. 現在時刻

本体停止中に■（停止）ボタンを押している間、現在時刻が年、月、日、時間、分の順番で表示されます。

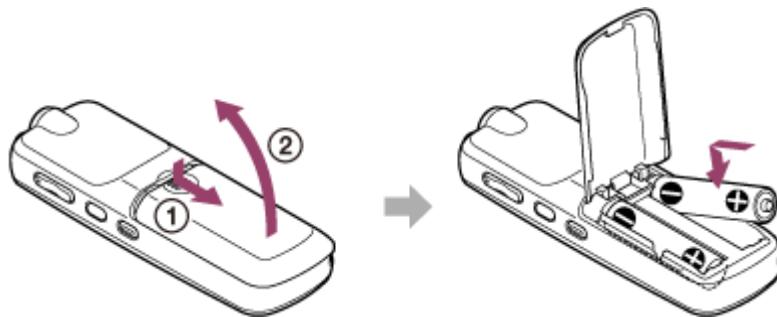
例：14年 12月 31日 23:59（2014年12月31日23時59分）

ボタンを離すと約1秒後に停止画面に戻ります。

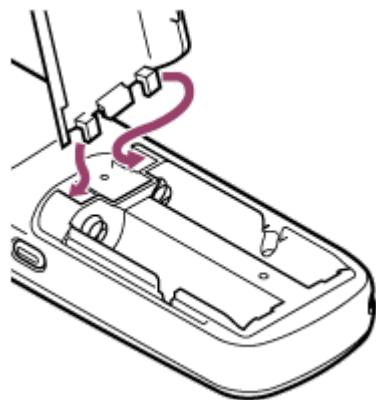
電池を入れる

1 電池を入れる。

電池蓋を矢印の方向へずらして開け、付属の単4形アルカリ乾電池または充電式電池（市販）を入れて蓋を閉めます。



電池蓋は落としたり、無理な力を加えたりすると外れることができます。そのときは下の図のように取り付けてください。



ご注意

- ICレコーダーには、マンガン電池はお使いになれません。
- 電池を交換するときは、ICレコーダーの電源を切ってから行ってください。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池または充電済みのニッケル水素電池に交換してください。
- ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。充電するときは、市販のニッケル水素電池専用充電器をご利用ください。
- 本体を長い間お使いにならない場合は、乾電池の液漏れや腐食を防ぐため、乾電池を外しておいてください。

ヒント

- ICレコーダーでは、以下の乾電池、充電池をお使いになれます。
 - 単4形アルカリ乾電池2本（付属）
 - 充電式ニッケル水素電池単4形（市販）
- 電池残量が少なくなると、電池マークは以下のように表示されます。
 - : 「LOW BATT」が点滅します。新しい乾電池に交換してください。
 - : 「LOW BATT」が点滅し、本体は動作しなくなります。

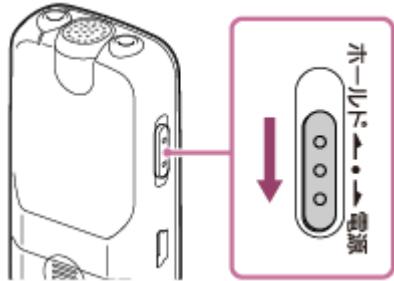
- 乾電池を交換しても、録音ファイルとアラーム設定は維持されます。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

電源を入れる

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

- 1 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



動作表示ランプがオレンジに点滅し、「ACCESS」と表示されます。



ヒント

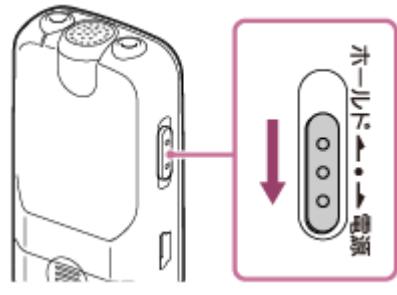
- 録音可能時間が約3秒間表示された後、停止画面に戻ります。
- 本体を長い間お使いにならない場合は、本体の電源を切っておくことをおすすめします。
- 停止状態で操作をしないまま約10分放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。

関連項目

- [電源を切る](#)

電源を切る

- 1 「OFF」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



ご注意

- 電池を交換するときは、ICレコーダーの電源を切ってから行ってください。

ヒント

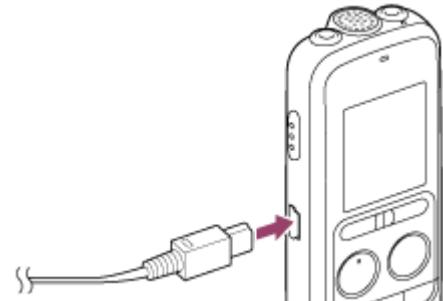
- 停止状態で操作をしないまま約10分放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。

関連項目

- 電池を入れる

USB ACアダプターにつないで使う

別売りのUSB ACアダプターを使って、ICレコーダーと家庭用電源（コンセント）をつないで使用することができます。長時間録音をする場合などに便利です。



- 1 付属のUSBケーブルを本体の  USB端子につなぐ。
- 2 接続したUSBケーブルをUSB ACアダプターにつなぐ。
- 3 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

ご注意

- 録音中（動作表示ランプが赤に点灯または点滅）やアクセス中（動作表示ランプがオレンジに点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからICレコーダーを抜き差ししたり、ICレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- USB ACアダプターを使用中は、電池マークが表示されません。

関連項目

- [USB ACアダプターからICレコーダーを取り外す](#)

USB ACアダプターからICレコーダーを取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、ICレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■（停止）ボタンを押して動作を停止する。
- 2 ICレコーダーの動作表示ランプが消えていることを確認する。
- 3 ICレコーダーにつないだ付属のUSBケーブルをUSB ACアダプターから取り外し、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

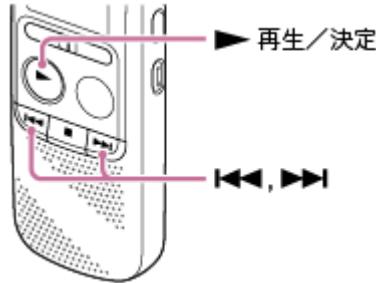
- 録音中（動作表示ランプが赤に点灯または点滅）やアクセス中（動作表示ランプがオレンジに点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからICレコーダーを抜き差ししたり、ICレコーダーを接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

関連項目

- [USB ACアダプターにつないで使う](#)

時計を合わせる

アラーム機能や録音日時を記録するには、時計を合わせる必要があります。本体に電池を入れて電源を入れると、時刻設定画面が表示されます。



1 年月日と時分を合わせる。

◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押して、年の数字（西暦の下2桁の数字）を選び、▶再生／決定ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
メニュー ボタンを押すと、前の項目に戻ることができます。
「分」の数字を選び、▶再生／決定ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。



設定完了後、録音可能時間が約3秒間表示され、停止画面に戻ります。

ご注意

- 電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたいたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り外す前の最後にICレコーダーを操作した日時が表示されます。現在の日時を設定し直してください。
- 時計設定モードに入ってから、設定を完了しないまま1分以上操作を行わない場合、時計設定モードがキャンセルされ、停止画面に戻ります。
- 時刻は「AM」／「PM」での12時間表示か24時間表示で表示されます。メニューの「HOUR」の設定で変更することができます。

ヒント

- 停止中にメニュー ボタンを押して、時計設定を後から変更することができます。
- 停止中に■（停止）ボタンを押すと、現在時刻が表示されます。

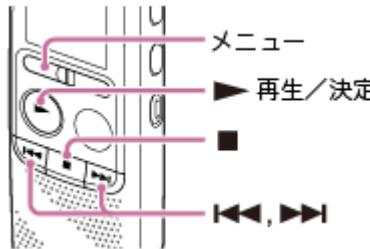
関連項目

- メニューから時刻を設定する
- 時計表示の設定を選ぶ (HOUR)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

メニューから時刻を設定する

本体が停止中にメニューから時刻を設定することができます。



- 1 メニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。

メニュー画面が表示されます。



- 2 ▶◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「SET DATE」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

時刻設定画面が表示されます。



- 3 年月日と時分を合わせる。

▶◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して、年の数字（西暦の下2桁の数字）を選び、▶再生/決定ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

メニュー ボタンを押すと、前の項目に戻ることができます。

「分」の数字を選び、▶再生/決定ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

ご注意

- 時計設定モードに入ってから、設定を完了しないまま1分以上操作を行わない場合、時計設定モードがキャンセルされ、停止画面に戻ります。
- 時刻は「AM」／「PM」での12時間表示か24時間表示で表示されます。メニューの「HOUR」の設定で変更することができます。

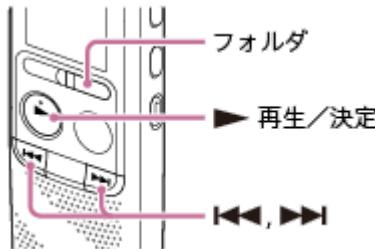
関連項目

- 時計表示の設定を選ぶ (HOUR)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

フォルダ／ファイルを選択する

本体が停止中に、フォルダ／ファイルを選択して録音や再生、編集を行うことができます。



1 フォルダボタンを押す。

フォルダ選択画面が表示されます。



2 フォルダを選択する。

フォルダボタンを繰り返し押すと、フォルダを選択することができます。本体購入時には5つのフォルダ（**A**／**B**／**C**／**D**／**E**）が利用可能です。

3 ファイルを選択する。

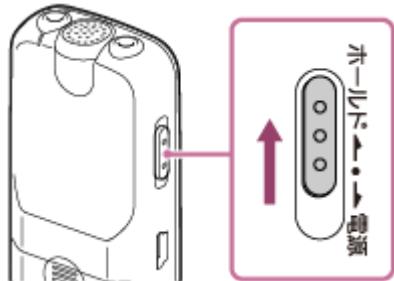
◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押してファイルを選び、▶再生／決定ボタンを押します。



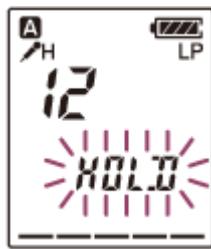
誤操作を防止する（ホールド）

ICレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

- 1 ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドさせる。



電源が入っているときに操作すると、「HOLD」と約3秒間点滅します。



ご注意

- ホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。操作する場合は、ホールドを解除してください。

ヒント

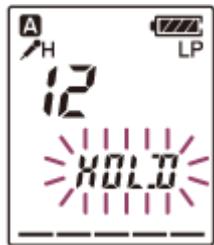
- ホールド時でも、本体のいずれかのボタンを押すとアラーム再生を停止することができます。（通常再生は停止することはできません。）

関連項目

- [ホールドを解除する](#)

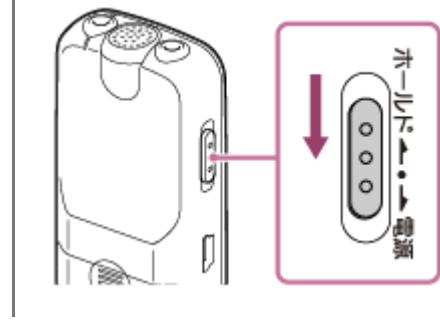
ホールドを解除する

ホールド時にボタン操作をすると、画面に「HOLD」が点滅します。



ホールド機能を解除してボタン操作ができるようにしてください。

- 1 ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせる。

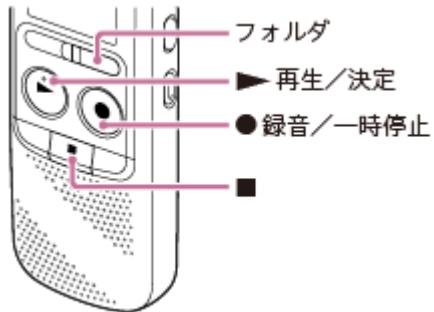


関連項目

- [誤操作を防止する（ホールド）](#)

内蔵マイクで録音する

ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。



ご注意

- 録音する前に、電池マークで電池残量を確認してください。
- 録音中、ICレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。

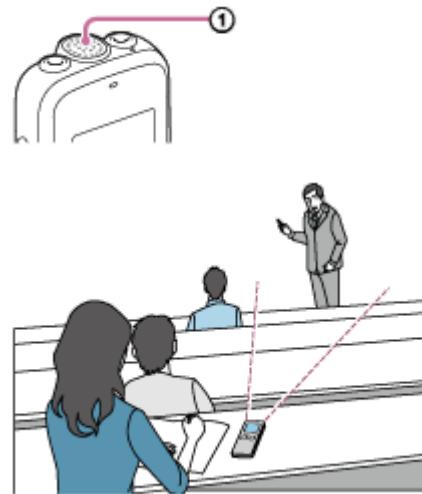
ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音をモニターする](#)」をご覧ください。

1 フォルダボタンを押して、録音するファイルを保存したいフォルダを選ぶ（A、B、C、DまたはE）。

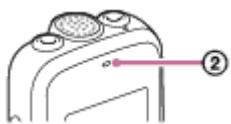
録音した後にフォルダを変更した場合、次にファイルを録音したときから、新しく選んだフォルダに保存されます。

2 内蔵マイク（①）を録音する音の方向へ向ける。



3 停止中に ●録音／一時停止ボタンを押す。

動作表示ランプ（②）が赤く点灯します。
新しい録音ファイルは選択中のフォルダ内の最後に保存されます。



4 ■ (停止) ボタンを押して録音を止める。

「ACCESS」と表示され、停止画面に戻ります。
録音停止後に▶再生／決定ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

ご注意

- 画面上に「ACCESS」が点滅中、または動作表示ランプがオレンジに点滅している間は、電池を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

関連項目

- [いろいろな録音操作](#)

メモリー残量表示について

メモリー残量表示で本体内蔵メモリーの残量を確認することができます。録音中に、内蔵メモリーの残量に応じて一つずつ減っていきます。



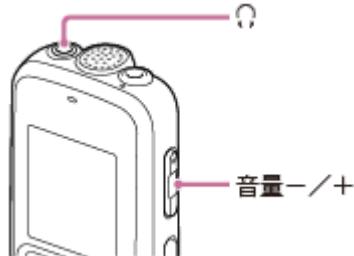
録音可能な残り時間が10分を切ると、メモリー残量表示が点滅します。

録音可能な残り時間が1分を切ると画面が切り替わり、メモリー残量表示と残り時間が点滅します。

残量がなくなると、録音が自動的に停止し、「FULL」と「録音」が点滅します。録音するには、不要なファイルを消去してください。

録音中の音をモニターする

別売りのヘッドホンを \ominus (ヘッドホン) ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。



1 ヘッドホンを \ominus (ヘッドホン) ジャックにつなぐ。

2 音量-／+ボタンを押して音量を調節する。

録音される音量に影響はありません。

ご注意

- 録音中の音をモニターしているときに、ヘッドホンのケーブルが本体に触れると、カサカサという音が録音されることがあります。本体からケーブルを離すことで、ノイズを低減することができます。
- 録音中の音をモニターしているとき、ノイズカットの設定は無効になります。

関連項目

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする（N-CUT） – ノイズカット機能](#)
- [内蔵マイクで録音する](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

いろいろな録音操作

録音中には次のような操作を行うことができます。

録音を一時停止する

- 録音／一時停止ボタンを押す。

録音一時停止中は動作表示ランプが赤く点滅し、画面に「PAUSE」が表示されて点滅します。

(録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。)

録音一時停止を解除する

- もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けずに停止するときは、

- (停止) ボタンを押します。）

今録音したばかりのファイルを聞く

- 録音停止中に▶再生／決定ボタンを押す。

録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

ヒント

- ICレコーダーで録音されるファイル形式は、MP3です。
- 各フォルダには、最大で99件のファイルが録音できます。

関連項目

- [内蔵マイクで録音する](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音の途中でファイルを分割する

録音中にファイルを分割して、録音を続けながら複数の録音ファイルを保存することができます。一度分割したファイルは、結合することができません。

- 1 録音中に分割ボタンを押す。



「DIVIDE」と新しいファイル番号が点滅します。ボタンを押したところから新しいファイル番号が付き、別のファイルとして、続けて録音されます。

ご注意

- ファイルを分割した場合、前のファイルの最後の音と、後のファイルの最初の音が重なり、同じ音が聞こえる場合があります。
- 録音中に何度もファイルを分割すると、動作表示ランプが点滅し、しばらくの間ICレコーダーを操作できなくなることがあります。この場合は動作表示ランプが消えるまで待ってから、操作を行ってください。
- 録音可能な残り時間が3秒未満になるとファイル分割はできません。

ヒント

- 録音一時停止中でもファイルを分割することができます。

より良い音で録音するには

会議録音

発表者に近い場所で録音してください。
ハンカチなどの上にICレコーダーを乗せることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。



メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。

ご注意

- ICレコーダーを手に持って録音するときは、ICレコーダーに触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようにしてください。



インタビュー録音

マイクをインタビュー相手に向けて録音します。



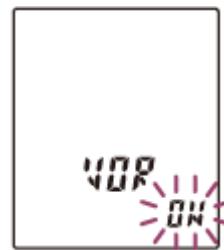
音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

- 停止中または録音中にメニューボタンを押して、メニュー modeに入る。

メニュー画面が表示されます。

- ◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押して「VOR」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。



- ◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押して、「ON」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

- （停止）ボタンを押してメニュー modeを終了する。

- 録音／一時停止ボタンを押す。

画面に「VOR」と「録音」が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR」と「PAUSE」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと録音が開始します。

OFF :

VOR録音を無効にします（お買い上げ時の設定）。

ご注意

- ノイズなど不要な音を拾っても録音が開始される場合があります。
- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度の設定方法については、「マイク感度を設定する（SENS）」をご覧ください。
マイク感度を切り換えるても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。

ヒント

- VOR録音を解除するには手順3で「VOR」を「OFF」にします。

関連項目

- [内蔵マイクで録音する](#)
- [メニューを使う](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音モードを選ぶ (MODE)

録音するファイルの録音モード（音質など）を設定します。録音を始める前に設定してください。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー modeに入れる。

メニュー画面が表示されます。

- 2 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「MODE」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。**



- 3 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して録音モードを選び、▶再生／決定ボタンを押す。**

- 4 **■ (停止) ボタンを押してメニュー modeを終了する。**

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

SHQ :

モノラル超高音質モード (44.1 kHz/192 kbps) (お買い上げ時の設定)

HQ :

モノラル高音質モード (44.1 kHz/128 kbps)

SP :

モノラル標準モード (44.1 kHz/48 kbps)

LP :

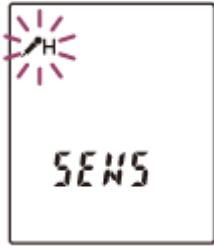
モノラル長時間モード (11.025 kHz/8 kbps)

ご注意

- 録音中に録音モードを変更することはできません。

マイク感度を設定する (SENS)

内蔵マイクのマイク感度を設定します。録音を始める前に設定してください。

- 1 停止中または録音中にメニューボタンを押し、メニュー mode に入る。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「SENS」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。**

- 3 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「↗H」または「↖L」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。**
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー mode を終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

↗H :

広い部屋での録音など、音源から離れた場所または低音を録音するときに使用します（お買い上げ時の設定）。

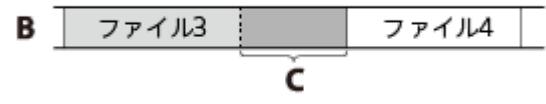
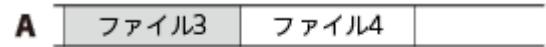
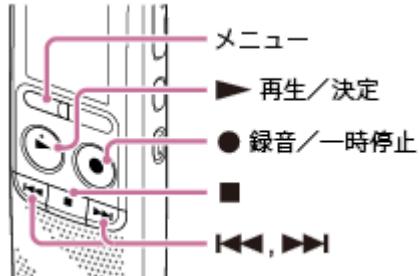
↖L :

口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

録音を録音済みファイルに追加する (ADD)

REC-OP機能を使って、再生中のファイルの最後に録音を追加することができます。

追加された録音は、再生中のファイルの一つとしてカウントされます。



A : ファイル3を再生中

B : 録音追加後

C : 追加された録音

- 1 停止中にメニュー ボタンを押し、メニュー モードに入る。

メニュー画面が表示されます。

- 2 ▶▶ (早戻し) または ▶▶▶ (早送り) ボタンを押して「REC-OP」を選択し、▶再生/決定 ボタンを押す。



- 3 ▶▶ (早戻し) または ▶▶▶ (早送り) ボタンを押して「ON」を選択し、▶再生/決定 ボタンを押す。

- 4 ▶▶ (早戻し) または ▶▶▶ (早送り) ボタンを押して「ADD」を選択し、▶再生/決定 ボタンを押す。

- 5 ■ (停止) ボタンを押してメニュー モードを終了する。

- 6 録音を追加したい録音 ファイルを再生し、●録音/一時停止 ボタンを押す。

「録音」と「ADD」が点滅し、録音一時停止状態になります。



7 「ADD」が点滅中に●録音／一時停止ボタンを押す。

動作表示ランプが赤く点灯します。

8 ■（停止）ボタンを押して録音を停止する。

録音が録音ファイルの最後に追加されます。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

REC-OP機能を有効にします。有効にした後に「ADD」を選択することで、再生中のファイルに追加して録音できます。

OFF :

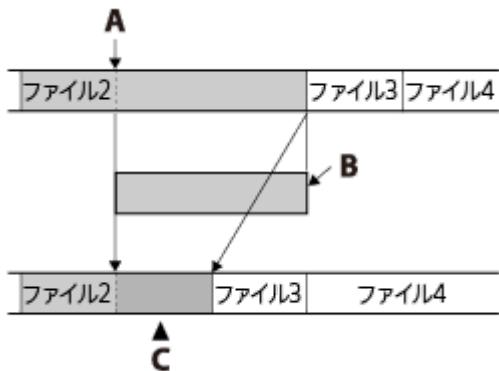
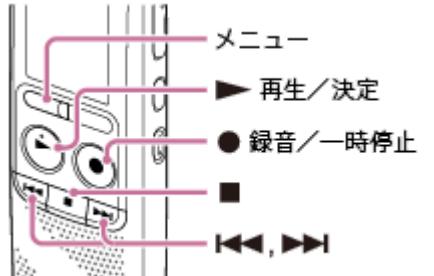
REC-OP機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

ご注意

- メモリー残量が不足していると、録音を追加することができません。
- 保護設定されているファイルに録音を追加することはできません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する（LOCK）](#)」をご覧ください。
- 追加する録音ファイルと同じ録音モードで録音されます。
- 手順6の後、10分以上操作しない場合、録音一時停止状態が解除されます。再度、録音を追加したいファイルを再生してください。

録音を再生中のファイルに上書きする (OVER)

REC-OP機能を使って、録音したファイル内の選択したポイントの後に上書き録音を追加することができます。選択したポイント以降の残りのファイルは消去されます。



A : 上書きを開始するポイント

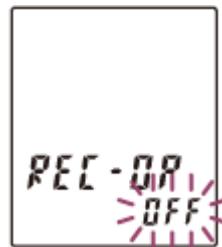
B : ファイル2の消去される部分

C : ファイル2に上書きで追加された部分

- 1 停止中にメニュー ボタンを押し、メニュー モードに入る。

メニュー画面が表示されます。

- 2 ▶▶ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「REC-OP」を選択し、▶再生／決定ボタンを押す。



- 3 ▶▶ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「ON」を選択し、▶再生／決定ボタンを押す。

- 4 ▶▶ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「OVER」▶再生／決定を選択し、ボタンを押す。

- 5 ■ (停止) ボタンを押してメニュー モードを終了する。

- 6 録音を上書きしたい録音 ファイルを再生し、●録音／一時停止 ボタンを押す。

「**録音**」と「OVER」が点滅し、録音一時停止状態になります。



7 「OVER」が点滅中に●録音／一時停止ボタンを押す。

動作表示ランプが赤く点灯して録音が始まります。

8 ■ (停止) ボタンを押して録音を停止する。

録音が録音ファイルに上書きされます。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

REC-OP機能を有効にします。有効にした後に「OVER」を選択することで、録音ファイルに上書き録音を追加することができます。

OFF :

REC-OP機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

ご注意

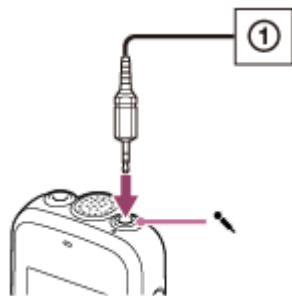
- メモリー残量が不足していると、録音を上書きすることができません。
- 保護設定されているファイルに録音を上書きすることはできません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する \(LOCK\)](#)」をご覧ください。
- 上書きする録音ファイルと同じ録音モードで録音されます。
- 手順6の後、10分以上操作しない場合、録音一時停止状態が解除されます。再度、録音を上書きしたいファイルを再生してください。

外部マイクをつないで録音する

外付けのマイクを使って録音します。

別売りのステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音するとステレオで録音できます。また、別売りのステレオヘッドホンを接続すると、録音ファイルをステレオで再生することができます。

- 1 停止中に外部マイク（①）を（マイク）ジャックにつなぐ。



- 2 フォルダボタンを押して、録音するファイルの録音先フォルダを選ぶ。

A、B、C、DまたはEから選びます。

- 3 ●録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、ICレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はICレコーダーから供給されます。

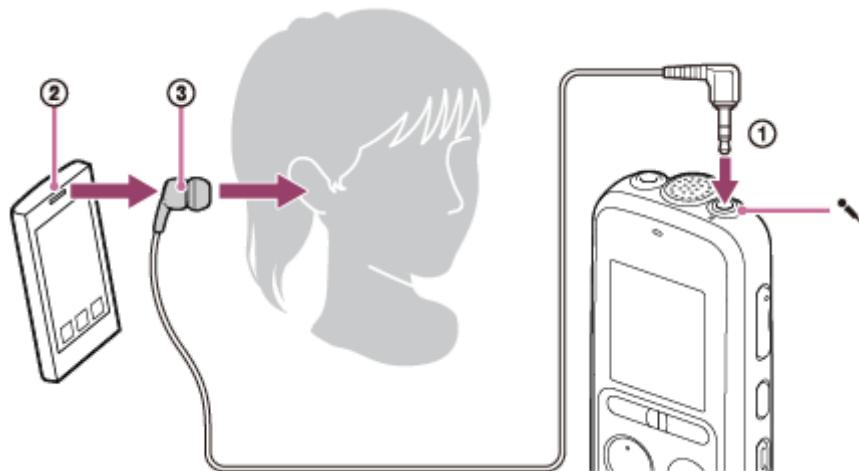
- 4 録音を止めるには、ICレコーダーの■（停止）ボタンを押す。

関連項目

- [電話機や携帯電話の音声を録音する](#)

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売りの電話録音用マイク (ECM-TL3) を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。



- 1 ICレコーダーの MIC （マイク）ジャックに、ECM-TL3をつなぐ（①）。
メニュー画面が表示されます。
- 2 電話のスピーカー（②）をECM-TL3のマイク部（③）にあてる。

ご注意

- 録音する場合には、ICレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認のうえ、ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからICレコーダーを録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- ICレコーダーを使って通話録音をしたとき、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

外部機器をつないで録音する

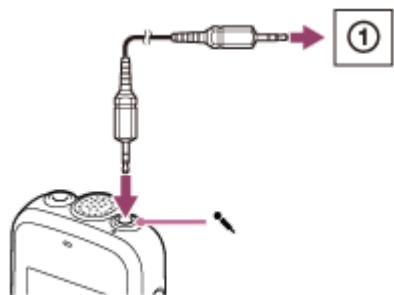
ラジカセ、テープレコーダー、テレビなど、他の機器の音声／音楽をICレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音をモニターする](#)」をご覧ください。

1 停止中に他の機器（①）をICレコーダーの（マイク）ジャックにつなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を市販のオーディオコードを使って、ICレコーダーの（マイク）ジャックにつなぎます。



2 フォルダボタンを押して、録音するファイルの録音先フォルダを選ぶ。

A、B、C、DまたはEから選びます。

3 ●録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れて、接続した機器からの音声の録音が始まり、「**録音**」が表示されます。

4 つないだ機器で再生を始める。

ヒント

- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を市販のオーディオコードを使って、ICレコーダーの（マイク）ジャックにつなぎ、他の機器の音量を調節してください。
- 録音を停止するには、■（停止）ボタンを押してください。

関連項目

- [ICレコーダーの音声を他の機器で録音する](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

ICレコーダーの音声を他の機器で録音する

ICレコーダーにつないだ他の機器でICレコーダーの音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめしめし録りをしてから、録音することをおすすめします。

- 1 ICレコーダーの  (ヘッドホン) ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 ICレコーダーの  再生/決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して録音状態にする。
ICレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。
- 3 録音を止めるには、ICレコーダーの  (停止) ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

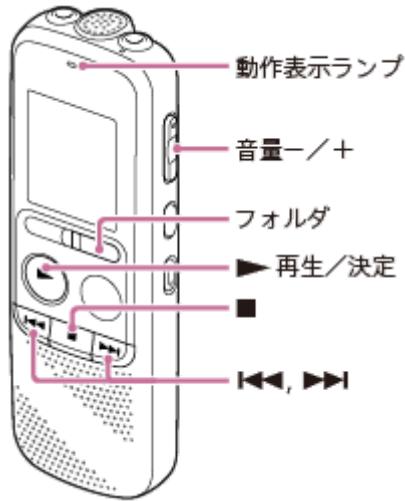
ヒント

- 外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイルを再生する

録音したファイルを選び、再生します。



1 フォルダボタンを押して、再生するファイルが保存されたフォルダを選ぶ。

A、B、C、DまたはEから選びます。

2 ▶◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ。

ファイルを選択しない場合は、最後に録音したファイルが再生されます。

3 ▶再生/決定ボタンを押す。

再生が始まり、動作表示ランプが緑に点灯します。

4 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

ヒント

- 再生を止めるには、■（停止）ボタンを押してください。
■（停止）ボタンを押さずにファイルの再生が終わると、次のファイルの先頭で停止します。
- フォルダ内の最後のファイルが再生し終わると、「END」が点滅します。

関連項目

- [フォルダ/ファイルを選択する](#)
- [いろいろな再生操作](#)

いろいろな再生操作

再生中には次のような操作を行うことができます。

再生の途中、その位置で停止する

►再生／決定ボタンを押す。
もう一度►再生／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

◀◀（早戻し）ボタンを短く1回押す。

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

◀◀（早戻し）ボタンを短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。)

次のファイルに進む

►►（早送り）ボタンを短く1回押す。

さらに次のファイルに進む

►►（早送り）ボタンを短く何回か押す。
(停止中は押したままにすると、連続して進みます。)

関連項目

- [ファイルを再生する](#)
- [聞きたいところをすばやく探す（EASY-S）—イージーサーチ機能](#)

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする (N-CUT) - ノイズカット機能

録音したファイルの再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズがカットされ、クリアな音質で再生することができます。録音した音声を聞きやすくするために、音声帯域には影響の出ない低域と高域の雑音を低減して音声をより聞きやすくします。

- 1 停止中または再生中にメニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2  (早戻し) または (早送り) ボタンを押して「N-CUT」を選び、再生/決定 ボタンを押す。
- 3 (早戻し) または (早送り) ボタンを押して、「ON」を選び、再生/決定 ボタンを押す。
- 4 (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

音声以外のノイズを低減し、声の大小を自動調整して聞きやすいクリアな音になります。

OFF :

ノイズカット機能を解除します（お買い上げ時の設定）。

ご注意

- ノイズカット機能の効果は、録音したファイルの状態によって異なります。
- 高音質のMP3ファイルを再生しているときは、ノイズカット機能を「OFF」に設定してください。
- ノイズカット機能は、ICレコーダーにヘッドホンを接続して再生しているときに働きます。内蔵スピーカーで再生しているときは働きません。

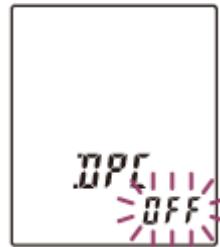
再生速度を調節する – DPC (Digital Pitch Control)

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

- 1 停止中または再生中にメニューボタンを押して、メニュー modeに入る。

メニュー画面が表示されます。

- 2 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して、「DPC」を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。



- 3 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して、「ON」を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。

- 4 再生中に \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して再生速度を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。

$\times 0.50 \sim \times 1.00$ 倍速の間は、0.05倍速刻みで、 $\times 1.00 \sim \times 2.00$ 倍速の間は、0.10倍速刻みで調節することができます。

お買い上げ時は、「 $\times 0.70$ 」に設定されています。

- 5 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー modeを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節します。

OFF :

DPC機能を解除します（お買い上げ時の設定）。

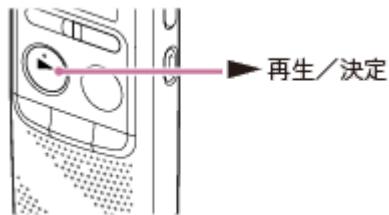
ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、手順3で「OFF」を選びます。

ICレコーダー
ICD-PX240

1ファイルを繰り返し聞く（リピート再生）

簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。



① 再生中に ▶ 再生／決定ボタンを長押しする。

「」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

ヒント

- 長押しリピート再生機能を解除するには、▶再生／決定ボタンを押します。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

フォルダ内のすべてのファイルを連続して再生する (CONT) – 連続再生

フォルダ内のすべてのファイルを連続して再生することができます。

- 1 停止中または再生中にメニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2  (早戻し) または (早送り) ボタンを押して、「CONT」を選び、再生/決定 ボタンを押す。
- 3 (早戻し) または (早送り) ボタンを押して、「ON」を選び、再生/決定 ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

フォルダ内のすべてのファイル連続して再生します。

OFF :

連続再生機能を無効にします。1ファイルのみを再生します。

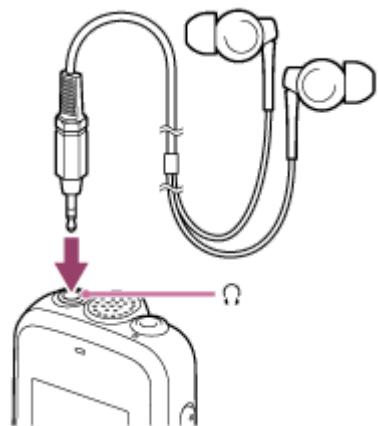
ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、手順3で「OFF」を選びます。

ICレコーダー
ICD-PX240

高音質で聞くには

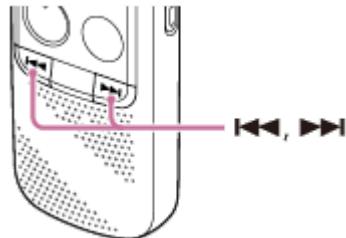
ICレコーダーにヘッドホンやスピーカーをつないで、高音質で再生します。



- ヘッドホンで聞く：
別売りのヘッドホンを \ominus (ヘッドホン) ジャックにつないでください。内蔵スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
別売りのアクティブスピーカーまたはパッシブスピーカーを \ominus (ヘッドホン) ジャックにつないでください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

早送り／早戻しする（キュー／レビュー）



- 早送り（キュー）：
再生中に▶▶（早送り）ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
再生中に◀◀（早戻し）ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しづつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

フォルダ内の最後のファイルまで再生または検索した場合

- フォルダ内の最後のファイルが再生し終わると、約5秒間「END」が点滅します。
- 「END」の表示が消えて、動作表示ランプが消灯すると、ICレコーダーは最後のファイルの先頭で停止します。
- 「END」の点滅中に◀◀（早戻し）ボタンを長押しすると、録音ファイルが早戻しされ、ボタンから指を離すとその時点から再生が始まります。

聞きたいところをすばやく探す (EASY-S) —イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

- 1 停止中または再生中に、メニューボタンを押してメニュー モードに入る。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「EASY-S」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。**

- 3 **◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「ON」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。**
- 4 **■ (停止) ボタンを押してメニュー モードを終了する。**

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

イージーサーチ機能を有効にします。再生中に、▶▶ (早送り) ボタンを押すと10秒進み、◀◀ (早戻し) ボタンを押すと3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

OFF :

イージーサーチ機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。▶▶ (早送り) または◀◀ (早戻し) ボタンを押すと、ファイルを早送り／早戻しします。

設定した時間にアラーム音とともにファイルを再生する (ALARM)

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。1ファイルに1件のアラームが設定できます。

- 1 アラーム音とともに再生したいファイルを選択する。
- 2 アラーム設定モードに入る。
 1. 停止中にメニューボタンを押してメニュー modeに入る。
 2. **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押して「ALARM」を選び、**▶再生／決定**ボタンを押す。
- 3 アラームの日付と時刻を設定する。
 1. **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押して、「DATE」、曜日または「DAILY」を選び、**▶再生／決定**ボタンを押す。
 2. 以下のいずれかの操作を行う。
 「DATE」を選択した場合：アラームの年、月、日、時間、分を設定します。設定方法について詳しくは、「時計を合わせる」をご覧ください。
 「DAILY」を選択した場合：**◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押して時間を設定し、**▶再生／決定**ボタンを押します。再度 **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押して分を設定し、**▶再生／決定**ボタンを押します。
- 4 **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押してお好みのアラーム設定を選び、**▶再生／決定**ボタンを押す。
 「ALARM ON」と表示されます。
- 5 ■ (停止) ボタンを押してメニュー modeを終了する。
 アラームが設定され、画面に「(●)」 (アラーム表示) が表示されます。

設定した日時になると、ICレコーダーの電源が自動的に入り、表示窓に「ALARM」と表示され、選択したアラーム音の設定に応じてアラーム音とファイルが再生されます。ファイルの再生が終了すると、ICレコーダーは自動的に停止します。（「B-PLAY」または「PLAY」を選択している場合、選択したファイルの先頭の位置で停止します。）

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

B-PLAY :

アラーム音が鳴った後に選択したファイルが再生されます。

BEEP :

アラーム音のみが鳴ります。

PLAY :

選択したファイルのみが再生されます。

ご注意

- 録音中はアラーム音が鳴りません。録音停止後にアラーム音が鳴ります。

ヒント

- アラームの設定を変更するには、設定変更したいファイルを選択し、手順2～5を行ってください。
- アラーム設定を解除するには、手順1～2を行い、手順2で「OFF」を選んで▶再生／決定ボタンを押してください。アラーム設定が解除され、画面からアラーム表示が消えます。
- アラームのファイル再生を停止するには、ICレコーダーの音量-／+ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。ホールド状態の場合では、ボタンを押しても再生を停止することはできません。
- 「BEEP」を「OFF」に設定していても、アラームは鳴ります。

関連項目

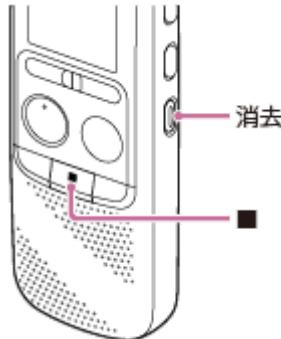
- [時計を合わせる](#)

ファイルを消去する

ファイルを選択して消去することができます。

ご注意

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。
- 保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する（LOCK）](#)」をご覧ください。



1 停止中または再生中に、消去したいファイルを選ぶ。

2 選んだファイルを消去する。

停止中は消去ボタンを長押し、再生中は消去ボタンを押します。

確認音が鳴り、ファイルが繰り返し再生され、ファイル番号と「ERASE」が点滅します。



3 「ERASE」の点滅中に消去ボタンをもう一度押す。

「ACCESS」と表示され、選択したファイルが消去されます。

ファイルを消去すると、以降のファイル番号が繰り上がります。

ヒント

- 途中で消去をやめるには、手順2で ■（停止）ボタンを押します。
- 1つのファイルの一部分だけ消去するには、ファイル分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイルを選んで上記の手順2から手順3の操作をします。

関連項目

- フォルダ／ファイルを選択する
- ファイルを分割する
- ファイルを保護する (LOCK)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

フォルダ内のファイルを一度に消去する (ERASE ALL)

選択したフォルダ内のファイルをすべて消去します。

ご注意

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。
- 保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する \(LOCK\)](#)」をご覧ください。

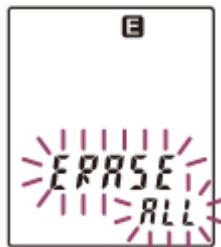
1 フォルダボタンを押して、ファイルを一度に消去したいフォルダを選ぶ。

A、**B**、**C**、**D**または**E**から選びます。

2 停止中にメニューボタンを押して、メニュー mode に入る。

メニュー画面が表示されます。

3 **◀◀** (早戻し) または **▶▶** (早送り) ボタンを押して、「ERASE ALL」を選び、**▶ 再生／決定**ボタンを押す。



4 「ERASE ALL」の点滅中に**▶ 再生／決定**ボタンをもう一度押す。

「ACCESS」と表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

5 **■ (停止)**ボタンを押して、メニュー mode を終了する。

ヒント

- 途中で消去をやめるには、手順3で**■ (停止)**ボタンを押します。

関連項目

- [ファイルを保護する \(LOCK\)](#)
- [フォルダ／ファイルを選択する](#)
- [ファイルを消去する](#)

ファイルを別のフォルダに移動する (MOVE)

選んだファイルをお好みのフォルダに移動できます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にメニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。
メニュー画面が表示されます。
- 3 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して、「MOVE」を選び、▶再生／決定 ボタンを押す。

- 4 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して移動先のフォルダを選び、▶再生／決定 ボタンを押す。
移動先フォルダの最後にファイルが移動します。移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。
- 5 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する \(LOCK\)](#)」をご覧ください。
- 移動先フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数 (99件) の場合は、ファイルを移動させることができません。

ヒント

- 途中で移動をやめるには、手順3で ■ (停止) ボタンを押します。

関連項目

- [フォルダ／ファイルを選択する](#)

ファイルを分割する

会議の録音など1ファイルが長時間の場合、複数のファイルに分割すると、再生したい場所がすばやく探せます。

分割したファイルには新しいファイル番号が付けられます。

分割したいファイルが入っているフォルダの最大ファイル数（99件）まで、ファイルを分割できます。



1 分割したいファイルを再生する。

2 分割したい位置で分割ボタンを押す。



「DIVIDE」と現在のファイル番号が点滅します。

3 もう一度分割ボタンを押す。

「ACCESS」と表示され、分割したファイルに新しいファイル番号が付きます。以降のファイル番号は1つずつ送られます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	▲	

B	ファイル1	ファイル2	ファイル3	ファイル4
---	-------	-------	-------	-------

A. 分割前：▲ = 分割位置

B. 分割後：ファイル番号が1つずつ増える。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する（LOCK）](#)」をご覧ください。
- 一度分割したファイルは、結合することができません。

- 分割ボタンを押した後、10秒以上操作しないままでいると、分割設定が解除され停止します。
- リピート再生中に分割すると、リピート再生は解除されます。

ヒント

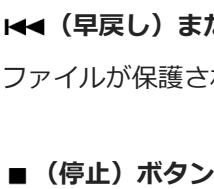
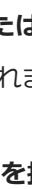
- 途中で分割をやめるには、手順2で ■ (停止) ボタンを押します。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイルを保護する (LOCK)

大事なファイルを間違って消去、編集することができないように保護することができます。保護されたファイルには、 (保護) マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1 保護したいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にメニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 3  (早戻し) または  (早送り) ボタンを押して、「LOCK」を選び、 再生/決定 ボタンを押す。

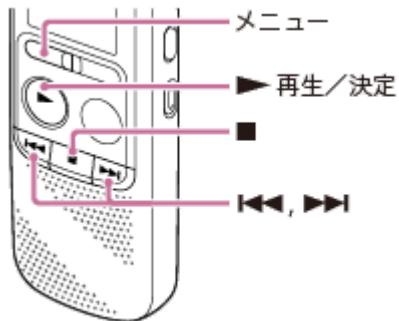
- 4  (早戻し) または  (早送り) ボタンを押して「ON」を選び、 再生/決定 ボタンを押す。
ファイルが保護されます。保護されたファイルには、画面上に (保護) マークが表示されます。
- 5 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

ヒント

- 保護を解除するには、保護設定されたファイルを選び、手順4で「OFF」を選びます。
- 途中で保護設定を止めるには、手順3で ■ (停止) ボタンを押します。

メニューを使う

ICレコーダーのメニューを使って、様々な設定を行うことができます。



- 1 メニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。

メニュー画面が表示されます。



- 2 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して設定したい項目を選び、▶再生/決定ボタンを押す。
- 3 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して設定を選び、▶再生/決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

ご注意

- メニュー ボタンを押した後、約1分間操作しないままでいると、メニュー モードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

ヒント

- 1つ前の画面に戻るには、メニュー操作中にメニュー ボタンを押します。
- メニュー モードを終了するには、■ (停止) ボタンを押します。

各種設定メニュー一覧

メニュー モードから設定できるメニューの一覧と、各メニューを表示できるモードについて説明します。

- MODE : 停止中
録音モードを選ぶ (MODE)
- SENS : 停止中、録音中
マイク感度を設定する (SENS)
- LCF : 停止中、録音中
ノイズを軽減して録音する (LCF)
- VOR : 停止中、録音中
音がしたとき自動録音する - VOR (Voice Operated Recording) 録音
- REC-OP (ADD) : 停止中
録音を録音済みファイルに追加する (ADD)
- REC-OP (OVER) : 停止中
録音を再生中のファイルに上書きする (OVER)
- DPC : 停止中、再生中
再生速度を調節する - DPC (Digital Pitch Control)
- N-CUT : 停止中、再生中
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする (N-CUT) - ノイズカット機能
- EASY-S : 停止中、再生中
聞きたいところをすばやく探す (EASY-S) - イージーサーチ機能
- CONT : 停止中、再生中
フォルダ内のすべてのファイルを連続して再生する (CONT) - 連続再生
- DISPLAY : 停止中、再生中、録音中
画面表示の設定を選ぶ (DISPLAY)
- SET DATE : 停止中
メニューから時刻を設定する
- HOUR : 停止中
時計表示の設定を選ぶ (HOUR)
- BEEP : 停止中
操作音の設定をする (BEEP)
- LED : 停止中
動作表示ランプの点灯、消灯を設定する (LED)
- INIT : 停止中
メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す (INIT)
- SYSTEM : 停止中
ICレコーダーの本体情報を確認する (SYSTEM)

- FORMAT : 停止中
メモリーを初期化する (FORMAT)
- ALL ERASE : 停止中
フォルダ内のファイルを一度に消去する (ERASE ALL)
- MOVE : 停止中
ファイルを別のフォルダに移動する (MOVE)
- LOCK : 停止中
ファイルを保護する (LOCK)
- ALARM : 停止中
設定した時間にアラーム音とともにファイルを再生する (ALARM)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ノイズを軽減して録音する (LCF)

LCF (ローカットフィルター) 機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2  ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して、「LCF」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 3 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「ON」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。

OFF :

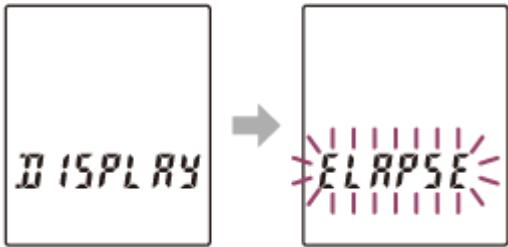
ローカットフィルター機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

ヒント

- ローカットフィルター機能を止めるには、手順3で「OFF」を選びます。

画面表示の設定を選ぶ (DISPLAY)

画面に表示される情報を切り替えます。

- 1 メニュー ボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して、「DISPLAY」を選び、 \triangleright 再生/決定 ボタンを押す。

- 3 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して「ELAPSE」または「REMAIN」を選び、 \triangleright 再生/決定 ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ELAPSE :

1ファイルの再生経過時間を表示します（お買い上げ時の設定）。

REMAIN :

停止または再生中は、1つのファイルの残りの時間を表示します。録音中は、録音可能時間を表示します。

ご注意

- 停止中の画面には、表示モードの設定に関係なく録音日時が表示されます。

時計表示の設定を選ぶ (HOUR)

12時間表示と24時間表示のいずれかを選ぶことができます。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して、「HOUR」を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。

- 3 \blacktriangleleft (早戻し) または \triangleright (早送り) ボタンを押して「12H」または「24H」を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

12H :

12 : 00AM = 真夜中、12 : 00PM = 正午

24H :

00 : 00 = 真夜中、12 : 00 = 正午 (お買い上げ時の設定)

操作音の設定をする (BEEP)

操作確認音のオン／オフを設定します。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2  (早戻し) または (早送り) ボタンを押して、「BEEP」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 3 (早戻し) または (早送り) ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります（お買い上げ時の設定）。

OFF :

操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

ご注意

- アラームを設定しているときは、操作音の設定を「OFF」にしていても音が鳴ります。

動作表示ランプの点灯、消灯を設定する (LED)

操作中の動作表示ランプの点灯・消灯を設定します。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して、「LED」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 3 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ON :

動作中は動作表示ランプが点灯または点滅します（お買い上げ時の設定）。

OFF :

動作中も動作表示ランプは点灯／点滅しません。

ご注意

- ICレコーダーをパソコンに接続しているときは、設定を「OFF」にしていても動作表示ランプが点灯または点滅します。

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す (INIT)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

ただし、次のメニューは初期化されません。

- 時計設定
- ファイルの保護設定
- アラーム設定

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して、「INIT」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 3 ◀◀ (早戻し) または▶▶ (早送り) ボタンを押して「YES」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。
- 4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

ヒント

- 途中でやめるには、手順3で「NO」を選びます。

ICレコーダーの本体情報を確認する (SYSTEM)

ICレコーダーのソフトウェアのバージョンを表示します。

- 1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー モードに入る。
- 2 $\blacktriangleleft\blacktriangleright$ (早戻し) または $\blacktriangleright\blacktriangleright$ (早送り) ボタンを押して、「SYSTEM」を選び、 \blacktriangleright 再生／決定ボタンを押す。


VER 1.00
- 3 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー モードを終了する。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

メモリーを初期化する (FORMAT)

内蔵メモリーを初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

ご注意

- 内蔵メモリーの初期化をすると、保存されていたすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

1 停止中にメニューボタンを押して、メニュー modeに入る。

2  (早戻し) または (早送り) ボタンを押して、「FORMAT」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。

3 (早戻し) または (早送り) ボタンを押して「YES」を選び、▶再生／決定ボタンを押す。

「ACCESS」と表示され、内蔵メモリーが初期化されます。

4 ■ (停止) ボタンを押して、メニュー modeを終了する。

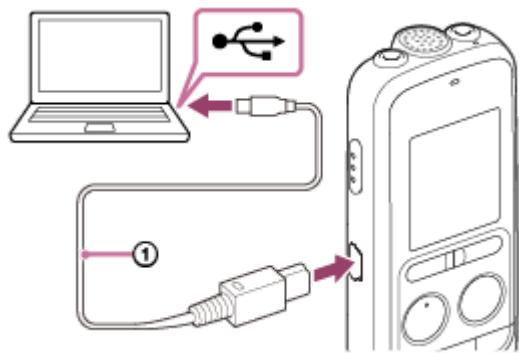
ヒント

- 途中で初期化をやめるには、手順3で「NO」を選びます。

ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ICレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 ICレコーダーの  USB端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブル（①）を奥まで差し込んで接続する。



ICレコーダーの電源がオフの状態でも接続できます。

- 2 正しく認識されているかを確認する。

- Windowsでは、「エクスプローラー」を開き、「IC RECORDER」が認識されているかを確認してください。
- Macでは、Finderに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でICレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。

接続している間はICレコーダーの表示窓に「PC LINK」の表示が出ています。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンから取り外す](#)

ICレコーダーをパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 ICレコーダーの動作表示ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

- Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。

次に、[IC RECORDERの取り出し] をクリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

- Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

3 パソコンからUSBケーブルを取り外す。

ヒント

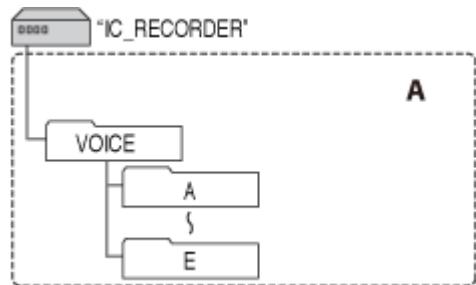
- パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

フォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。



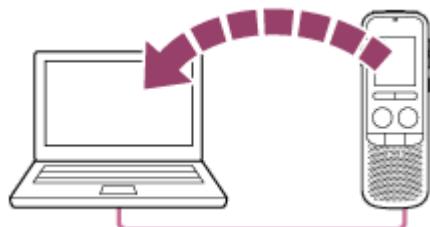
A: ICレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

ご注意

- ICレコーダーで録音したファイルは、5つのフォルダ（**A**、**B**、**C**、**D**または**E**）に保存されます。
- パソコンから転送したフォルダは、ICレコーダーでは認識できません。
- ファイル名やフォルダ名が長すぎる場合や、お使いのパソコンのOSがICレコーダーに対応していない場合は、ファイルやフォルダを転送することができません。

ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する

ICレコーダーにあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。



① ICレコーダーをパソコンに接続する。

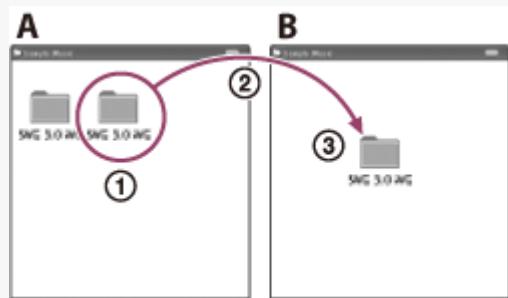
② 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにコピー（ドラッグアンドドロップ）します。

③ ICレコーダーをパソコンから取り外す。

ヒント

- ファイルやフォルダをコピーするには、コピーしたいフォルダをクリックしたまま（①）、保存先まで移動（ドラッグ）して（②）、離します（ドロップ）（③）。



A: ICレコーダー
B: パソコン

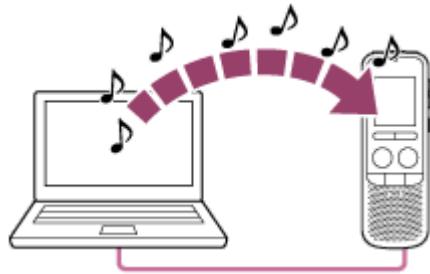
関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [ICレコーダーをパソコンから取り外す](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーにコピーする

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（MP3(.mp3)）をICレコーダーにコピーして再生することができます。



① ICレコーダーをパソコンに接続する。

② パソコン内の音楽ファイルをICレコーダーにコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルを「IC RECORDER」の「VOICE」内にあるA～Eのフォルダのいずれかにドラッグアンドドロップします。

1個のフォルダには最大99件のファイルを入れることができます。

③ ICレコーダーをパソコンから取り外す。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [ICレコーダーをパソコンから取り外す](#)

パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生する

パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生します。

- 1 フォルダボタンを押す。
- 2 フォルダボタンを繰り返し押して、再生するファイルが保存されたフォルダを選ぶ。
A、B、C、DまたはEから選びます。
- 3 ▶◀（早戻し）または▶▶（早送り）ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ。
- 4 ▶再生／決定ボタンを押して再生を始める。
- 5 ■（停止）ボタンを押して再生を止める。

関連項目

- [再生時](#)

USBメモリーとして利用する

ICレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるICレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをICレコーダーに一時保存できます。

USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

OSの条件については「[必要なシステム構成](#)」をご覧ください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下のとおりです。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)
- macOS (v10.11 ~ v10.14)

標準インストール (日本語版のみ)

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、「[サポートホームページで調べる](#)」をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

ICレコーダーの仕様

主な仕様

容量 (ユーザー使用可能領域) (*1) (*2)	4 GB (約3.50GB = 3,758,096,384 Byte)
最大録音ファイル数 (1フォルダ内)	99ファイル
最大ファイル数 (5フォルダ内)	495ファイル
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● SHQ : 75 Hz～15,000 Hz ● HQ : 75 Hz～15,000 Hz ● SP : 75 Hz～10,000 Hz ● LP : 75 Hz～3,000 Hz
対応ファイルフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ● コーデック : MP3 (*3) (*4) ● ビットレート : 32 kbps～320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応 ● サンプリング周波数 : 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子 : .mp3
内蔵スピーカー	直径28 mm
入・出力端子	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部入力 (ステレオミニジャック) プラグインパワー対応 ● ヘッドホン (ステレオミニジャック) 推奨負荷インピーダンス : 16Ω ● USB端子 (USB mini-B端子) High-Speed USB対応
再生スピード調節 (DPC)	2.00倍速～0.50倍速
実用最大出力	300 mW
電源	DC 3.0 V、単4形アルカリ乾電池
動作温度	5 °C～35 °C
最大外形寸法 (最大突起部含まず)	約38.5 mm×115.2 mm×21.3 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約72 g (単4形アルカリ乾電池2本含む)
付属品	「箱の中身を確認する」参照

*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

*2 ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*4 著作権保護されたファイルは再生できません。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

最大録音時間

最大録音時間 (*1) (*2) は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	最大録音時間
SHQモード	約43時間25分
HQモード	約65時間10分
SPモード	約173時間
LPモード	約1,043時間

*1 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは「[電池の持続時間](#)」をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

電池の持続時間

ファイルのデータ形式別で、乾電池と充電式電池の持続時間（*）を記載しています。

乾電池の持続時間

（アルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時	ヘッドホン再生時
SHQモード	約21時間	約11時間	約25時間
HQモード	約23時間	約12時間	約25時間
SPモード	約27時間	約12時間	約27時間
LPモード	約32時間	約13時間	約30時間

充電式電池の持続時間

（充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時	ヘッドホン再生時
SHQモード	約15時間	約8時間	約18時間
HQモード	約18時間	約9時間	約18時間
SPモード	約18時間	約9時間	約19時間
LPモード	約21時間	約9時間	約20時間

* 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ（60°C以上）。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合、ご注意ください。
 - 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水ぬれの原因になる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - 汗をかく状況での使用。
ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水ぬれの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがあります。ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。
シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

| 日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.com/>を参照してください。

| ICレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化を行い、すべてのデータを削除してください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

保証書とアフターサービス

修理や交換などのアフターサービスを受けるには、保証書が必要です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間にについて
当社では、ICレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- macOSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ライセンスについて

本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー

ICD-PX240

電話・FAXで問い合わせる

ICレコーダーの使いかたやトラブルについて、電話やFAXで問い合わせることができます。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

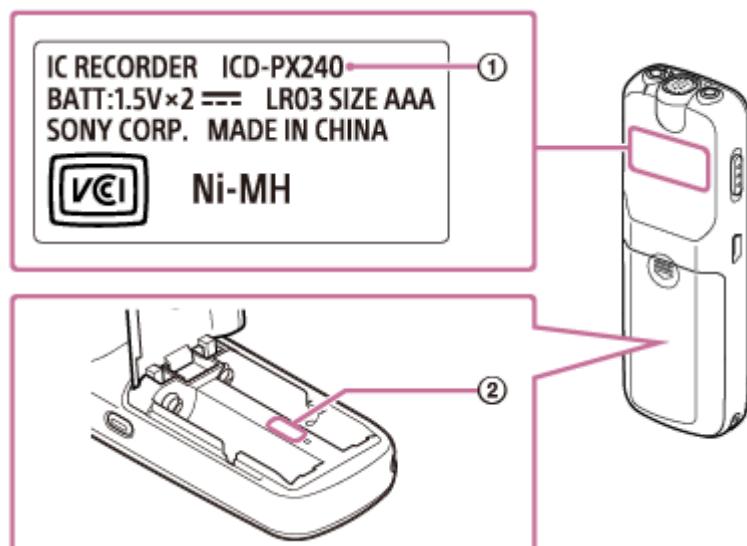
- ICレコーダー本体に関するご質問時：

型名（①）：ICD-PX240

シリアルナンバー（②）：電池蓋を開けた内側に記載

ご相談内容：できるだけ詳しく

お買い上げ年月日



- ソフトウェアに関するご質問時：

質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

サポートホームページで調べる

ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで、トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。

ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページへ:

<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

ICレコーダーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

- 「よくある質問」の各項目で調べる。
- 電池を入れ直す。
電池を入れ直すと問題が解決することがあります。
- 充電式電池を使用している場合は、電池を充電する。
電池を充電すると問題が解決することがあります。

それでも解決しない場合、ご不明な点は、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページをご覧いただき、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照願います。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ICレコーダー
ICD-PX240

録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。

- メニューから「LCF」を「ON」に設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

関連項目

- [ノイズを軽減して録音する（LCF）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、ICレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

ジリジリという音が録音されている。

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
ICレコーダーを離して録音してください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

別売りの外部マイクで録音すると、雑音が入る。

- 外部マイクのプラグが汚れています。
プラグをきれいにクリーニングしてください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

別売りのヘッドホンで聞くと雑音が入る。

- ヘッドホンのプラグが汚れています。
プラグをきれいにクリーニングしてください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

外部機器から録音した音を内蔵スピーカーで聞くと、音が小さかったり、キュルキュルという異音が聞こえたりする。

- モノラル音声の機器とICレコーダーをステレオケーブルで接続して録音したファイルをICレコーダーで再生すると、内蔵スピーカーからの再生音が小さくなったり、キュルキュルというような音が聞こえたりする場合がありますが、故障ではありません。
モノラル音声の機器にステレオケーブルを使用してICレコーダーに録音すると、左右の音声信号が逆相で出力されるため、内蔵スピーカーで聞くと上記のような現象が起きことがあります。
モノラル音声の機器から録音する場合は、片側がモノラルのケーブルをお使いください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ノイズカット機能を設定しているのにノイズが入る。

- 内蔵スピーカーで再生しているときや、録音中の音をモニターしているときは、ノイズカット機能は働きません。

関連項目

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする（N-CUT） – ノイズカット機能](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- 電池の+と-の向きが正しいか確認してください。
- 電源がオフになっています。
画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります。
- ホールドがオンになっています。
ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせてください。

関連項目

- [電源を入れる](#)
- [各部のなまえ](#)
- [ホールドを解除する](#)

電源が切れない。

-
- 停止中に、画面に「OFF」と表示されるまでホールド・電源スイッチを「電源」の方向に動かしてください。
-

関連項目

- [電源を切る](#)
- [各部のなまえ](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま約10分放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

電池の持続時間が短い。

- このヘルプガイドに記載の電池の持続時間は目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切ることをおすすめします。
- 5°C以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- マンガン電池を使用しています。ICレコーダーには、マンガン電池はお使いになれません。

関連項目

- [電源を切る](#)
- [電池の持続時間](#)

長期間電池を入れたままICレコーダーを放置すると電池残量がなくなる。

- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切るか、電池を取り外すことをおすすめします。

関連項目

- [電源を切る](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

正常に動作しない。

-
- 電池を取り出して、もう一度入れ直してください。
 - パソコンで初期化（フォーマット）しています。
ICレコーダーで初期化を行ってください。
-

関連項目

- [メモリーを初期化する（FORMAT）](#)

起動に時間がかかる。

- ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがあります。故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

操作ボタンを押しても動作しない。

- 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
- ホールドがオンになっています。
ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせてください。

関連項目

- [電源を入れる](#)
- [ホールドを解除する](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

動作表示ランプが点灯しない。

- メニューの「LED」が「OFF」に設定されています。
「ON」に切り換えてください。

関連項目

- [動作表示ランプの点灯、消灯を設定する \(LED\)](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

SONY

ヘルプガイド

ICレコーダー
ICD-PX240

録音できない。

- 録音残り時間が不足している場合は録音できません。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「VOR」を「OFF」にしてください。

関連項目

- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

ADD機能やOVER機能で追加や上書きができない。

- 録音残り時間が不足しています。録音ファイルで上書きする部分は、上書き録音が終わったあとに消去されます。そのため、録音残り時間より長く上書き録音することはできません。
- ICレコーダーで録音したファイル以外の音声ファイルには、録音の追加や上書きができません。
- 保護設定されているファイルには、録音の追加や上書きができません。

関連項目

- [録音を録音済みファイルに追加する（ADD）](#)
- [録音を再生中のファイルに上書きする（OVER）](#)
- [ファイルを保護する（LOCK）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

VOR機能が働かない。

- 「VOR」が「OFF」に設定されています。メニューで「VOR」を「ON」に設定してください。

関連項目

- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音レベルが低い。

- 内蔵マイクや外部マイク使って録音する場合は、「SENS」（マイク感度設定）が「L」に設定されます。メニューで「SENS」を「H」に設定してください。

関連項目

- [マイク感度を設定する（SENS）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）

- 音楽などを録音したいときは、外部マイクを使用し、雑音が入らないようにセッティングして録音してください。
- 録音モードは、SHQモードまたはHQモードをお使いください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。

- 他の機器のヘッドホン端子を使ってICレコーダーの (マイク) ジャックと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
- 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。

関連項目

- [外部機器をつないで録音する](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

再生音量が小さい。

- 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。
- 音量が小さくなっています。音量を調整してください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

内蔵スピーカーから音が出ない。

-
- 音量が0になっています。音量を調整してください。
 - ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。
-

関連項目

- [高音質で聞くには](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

ステレオで再生されない。

- ICレコーダーに接続している外部機器の出力がモノラルの場合、ICレコーダーの録音モードが「SHQ」または「HQ」に設定されていると、音声がモノラルで録音されます。ICレコーダーのメニューで、録音モードを「SP」または「LP」に設定してください。

関連項目

- [録音モードを選ぶ（MODE）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC (速度調整) の設定が「ON」になっているため、調整した再生スピードで再生されています。
DPC (速度調整) の設定を「OFF」にすると、通常の速度で再生されます。再生スピードを調整してください。

関連項目

- [再生速度を調節する – DPC \(Digital Pitch Control\)](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

MP3ファイルの音質がよくない。

- メニューで「N-CUT」が「ON」に設定されていると、MP3ファイルの音質が悪くなることがあります。「N-CUT」を「OFF」に設定してください。

関連項目

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする（N-CUT） – ノイズカット機能](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイルを分割できない。

- メモリー残量が不足していると、ファイル分割はできません。
- 1フォルダ内のファイル数が99件を超えると、ファイル分割はできません。不要なファイルを消去するか、パソコンに保存をしてからファイルを消去してください。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- ICレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
- 保護設定されているファイルは分割できません。保護設定を解除してから操作してください。
- ファイルの始めから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間ではファイル分割はできません。
- 頻繁にファイル分割をすると、ファイル分割ができなくなることがあります。

関連項目

- [ファイルを消去する](#)
- [ファイルを保護する（LOCK）](#)

ファイルを移動できない。

- 保護設定されているファイルは移動できません。保護設定を解除してから操作してください。
- 移動先フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため移動できません。不要なファイルを消去してください。

関連項目

- [ファイルを消去する](#)
- [ファイルを保護する（LOCK）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイルを消去できない。

- メニューで「LOCK」（保護）が「ON」になっているとファイルは消去できません。
「LOCK」を「OFF」に設定して、保護設定を解除してください。

関連項目

- [ファイルを保護する（LOCK）](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

時計表示が「---:---」になる。

- 時計を合わせていません。

関連項目

- [時計を合わせる](#)
- [メニューから時刻を設定する](#)

録音日時表示が「--年--月--日」または「--:--」になる。

- 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。

関連項目

- [時計を合わせる](#)
- [メニューから時刻を設定する](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

時計設定がリセットされている。

- 電池を交換した後にICレコーダーの電源を入れると、時計設定画面が表示され、電池を交換する前の最後にICレコーダーを操作したときのおおよその日付と時刻が表示されます。日付と時刻を設定し直してください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

SONY

ヘルプガイド

ICレコーダー
ICD-PX240

液晶表示が消えない。表示が二重に見える。

- 保護シートが付いている場合は、剥がしてお使いください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

メニュー表示の項目が足りない。

-
- 再生中または録音中は、表示されないメニューがあります。
-

関連項目

- [各種設定メニュー一覧](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

「ACCESS」のメッセージが消えない。

- ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがあります。故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

「FULL」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。
不要なファイルを消去するか、パソコンに保存してからファイルを消去してください。

関連項目

- [ファイルを消去する](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

「FILE FULL」のメッセージが表示され、操作できない。

- フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）になっているか、ファイルの総数が495件（フォルダが5つの場合）を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。
不要なファイルを消去するか、パソコンに保存してからファイルを消去してください。

関連項目

- [ファイルを消去する](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

変更したメニュー設定が反映されていない。

-
- 設定変更直後に電池を取り外した場合、ICレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイル数が多くなると動作が遅くなる。

- 録音時間の長さに関係なく、ICレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

SONY

ヘルプガイド

ICレコーダー
ICD-PX240

ファイルコピーに時間がかかる。

- ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。コピーが終わるまでお待ちください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからICレコーダーを外し、再度接続してください。
- 別売りのUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使用して直接パソコンに接続してください。
- ICレコーダーが対応しているシステム構成以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [必要なシステム構成](#)

ICレコーダー
ICD-PX240

ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。

- ICレコーダーでは、「VOICE」フォルダ内の「A」、「B」、「C」、「D」または「E」フォルダに転送したファイルを認識することができます。
- ICレコーダーで対応しているMP3(.mp3)以外のファイルは、再生できません。ICレコーダーの仕様をご確認ください。

関連項目

- [ICレコーダーの仕様](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

パソコンが起動しない。

- ICレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。
ICレコーダーをパソコンから外して起動してください。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-PX240

ICレコーダーを正常に接続できない。

- 次の接続を確認してください。
 - 別売りのUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使用して直接パソコンに接続してください。
 - ICレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。
 - 他のUSBポートで接続してみてください。
- パソコンがスリープモードや休止状態に移行しています。スリープモードや休止状態に移行しないように設定してください。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

メッセージ表示一覧

HOLD

ICレコーダーが誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせて、ホールドを解除してください。
(「[ホールドを解除する](#)」参照)

LOW BATT (が同時に点滅)

電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池（市販）と取り換えてください。
(「[電池を入れる](#)」参照)

LOW BATT (が同時に点滅)

電池が消耗しています。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池（市販）と取り換えてください。
(「[電池を入れる](#)」参照)

FORMAT ERR

内蔵メモリーが、ファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。

FULL (が同時に点滅)

録音できるメモリー容量がなくなりました。不要なファイルを消去してからやり直してください。
(「[ファイルを消去する](#)」参照)

FULL (移動先フォルダが同時に点滅)

移動先フォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため、ファイルを移動できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
(「[ファイルを消去する](#)」参照)

FILE FULL

選んだフォルダ内のファイルの合計が最大ファイル数（99件）のため、録音や分割することはできません。不要なファイルを消去してください。
(「[ファイルを消去する](#)」参照)

DATA ERR

- 選択したファイルが壊れているため、再生や編集ができません。
- ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが対応しているファイル形式（拡張子）は、MP3（.mp3）となります。
(「[ICレコーダーの仕様](#)」参照)
- 著作権保護されたファイルは再生できません。

SET DATE

時計を合わせていないため、アラームが設定できません。

NO FILE

選んだフォルダには1つもファイルが録音されていないため、ファイル移動やアラーム再生の設定などの操作ができません。

LOCK (録音が同時に点滅)

選んだファイルが保護設定されているか、読み取り専用になっているため、消去などできません。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。
(「[ファイルを保護する \(LOCK\)](#)」参照)

PRE SET

すでに別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。

BACK DATE

現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。
(「[設定した時間にアラーム音とともにファイルを再生する \(ALARM\)](#)」参照)

NO EDIT

- ICレコーダーで記録したファイルでないため、分割や追加録音、上書き録音ができません。
- 追加録音または上書き録音するファイルが最大サイズを超えているため、追加録音、上書き録音ができません。

NO MOVE (移動先フォルダが同時に点滅)

移動先フォルダに同じ名前のファイルが存在するため、移動することができません。

REC-OP OFF

「REC-OP」が「OFF」に設定されているため、録音を追加したり上書きしたりすることはできません。「ON」に設定してください。

- (「[録音を録音済みファイルに追加する \(ADD\)](#)」参照)
(「[録音を再生中のファイルに上書きする \(OVER\)](#)」参照)

NEW (メッセージ番号が同時に点滅)

録音中にファイルが最大サイズ制限に達しました。ファイルは自動的に分割され、録音は新しいファイルとして継続されます。

ACCESS ERR

何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池を外し、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

ERROR 01 ~ ERROR 06

何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池を外し、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

ICレコーダー
ICD-PX240

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間まで録音できない。

- SHQモード、HQモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSHQモードとLPモードの最大録音時間の間になります。
- 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より短くなります。

音楽ファイルを順番に表示、再生できない。

パソコンを使って、ICレコーダーに転送した音楽ファイルは、メタ情報のトラック番号やファイル名をもとに並び替えます。音楽ファイルをパソコンからICレコーダーに1つずつ転送すると、転送した順番にファイルを表示したり再生したりすることができます。

録音中に自動的に分割されてしまう。

録音の途中でファイルサイズの上限（MP3は1 GB）を超てしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。

ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

4-729-422-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation